



平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 7 月 31 日

上場会社名 NEC ネットエスアイ株式会社 上場取引所 東証一部
 (英文名: NEC Networks & System Integration Corporation)
 コード番号 1973 URL <http://www.nesic.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 山本 正彦
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 深谷 祥一 TEL (03)5463-1111

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	44,153	10.7	12	—	78	—	△16	—
19年3月期第1四半期	39,884	24.6	△1,372	—	△1,284	—	△819	—
19年3月期	254,641	—	7,849	—	7,860	—	3,476	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	△0.34	—	—	—
19年3月期第1四半期	△17.13	—	—	—
19年3月期	70.72	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
20年3月期第1四半期	130,927	—	61,921	—	46.6	—	1,226.88	—
19年3月期第1四半期	129,279	—	58,132	—	44.4	—	1,168.05	—
19年3月期	148,797	—	62,201	—	41.3	—	1,233.52	—

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	中間期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
19年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
20年3月期	—	—	—	—	20.00
20年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	—

3. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	118,000	2.9	3,500	16.2	3,500	17.9	1,550	0.6	31.15	—
通期	270,000	6.0	9,300	18.5	9,000	14.5	4,300	23.7	86.41	—

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う
特定子会社の異動） : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

[(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、将来の予測であり、確定的な事実に基づかないためにリスクや不確定要因を含んでおります。

実際の業績は、様々な要因の変化により記載の見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき願います。

実際の業績に影響を与える重要な要因は、当社グループの事業を取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供するシステムやサービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、市場対応能力などであります。

なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定するものではありません。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期(平成19年4月1日～平成19年6月30日:以下「当四半期」)におけるわが国経済は、原油価格の更なる高騰や円安の進行などの影響が懸念されたものの、企業業績の改善に伴う設備投資の増加や雇用環境の好転など、景気は概ね回復基調で推移いたしました。

当社グループをとりまく事業環境は、通信業では、次世代ネットワーク(NGN:Next Generation Network)の実証実験(トライアル)が本格化し、商用化に向けた準備が整いつつあります。また、昨年10月に導入されたナンバーポータビリティ制度を契機として、移動体通信事業者では引き続き通話品質向上などのサービス拡充を目的とした基地局整備が継続するとともに、新規参入事業者においてもサービスエリア拡大に向けた設備投資が増加いたしました。一方、企業においてもネットワークシステムの効果的な活用による業務効率の改善などを目的に、企業ネットワークのIPテレフォニー^{※1}化やブロードバンド化が進展したほか、情報漏洩対策のセキュリティシステムの導入が進むなど、国内におけるネットワーク関連投資は堅調に推移いたしました。

このような事業環境のなかで、当社グループは、市場対応力の強化ならびに事業体質の強化を図ってまいりました。

当社は、ネットワーク事業分野におけるワンストップサービス体制の更なる強化を目的に、平成19年4月に子会社であるNECテレネットワークス株式会社を合併いたしました。これにより、企画・コンサルティングから構築、保守・運用に至るまでの一貫した体制をさらに充実させるとともに、サポートサービス力の拡充を従来にも増して図るなど、より強靱な基盤を確立いたしました。

この結果、当四半期の連結業績につきましては、受注高は、通信業や企業向けのネットワークインテグレーション・サポートサービス事業(以下、NI・SS事業)および海外での大型受注などにより通信工事事業が増加し、653億31百万円(前年同期比8.7%増)となりました。売上高につきましては、国内でのNI・SS事業および通信工事事業が増加したことに加え、期末に集中する傾向にある売上高の平準化への取組みを強化したことなどにより、441億53百万円(前年同期比10.7%増)となりました。

収益面につきましては、原価低減を中心としたコスト改革活動を国内グループ各社へ活動範囲を拡大するなどグループ一丸となって取り組んだこと、および売上高の平準化努力により、営業利益は、12百万円(前年同期比13億84百万円改善)となり、経常利益につきましても78百万円(前年同期比13億63百万円改善)となりました。四半期純利益は、△16百万円(前年同期比8億2百万円改善)となりました。

当社グループでは、今後の事業拡大施策として、平成19年4月には、お客様のニーズを踏まえたソリューションメニューやサービスメニューの企画・開発および提案力の強化を目的に、ICT^{※2}ソリューション推進本部を新設し、マーケット対応力を強化いたしました。同本部では、ICTの利活用によりお客様の企業力アップを実現する「Empowered Office(エンパワードオフィス)^{※3}」を商品化するなど、マーケット拡大への取組みを積極的に展開しております。また、今後の市場拡大が期待されるNGNにつきましては、通信事業者が実施している実証実験(トライアル)への参画に加え、新サービスに対応する技術力習得に向けた教育体制の整備、拡充など、NGNへの対応力強化に取り組んでおります。

今後も当社グループでは、マーケット拡大や事業基盤を強化するべく、間断なきイノベーションを実行してまいります。

※1 IPテレフォニー:

いわゆるIP電話であり、電話の音声情報をPCやコンピュータシステムのデータと同じように、IP(インターネット・プロトコル)ネットワーク上で伝送するシステム。

※2 ICT: Information and Communication Technology (情報通信技術) の略。

※3 Empowered Office (エンパワードオフィス):

オフィスワークに関わる3つの要素(コミュニケーション、インフォメーション、ファシリティ)を効果的に使いこなし、オフィスにおける業務プロセスの革新とオフィス環境の刷新、社員一人一人の増力化(empowered)を図り、企業力アップを実現するソリューション。
中堅企業オフィス向けに提案から構築、運用保守、アウトソーシングまでオールインワンで対応。

[当社グループの四半期業績の特性について]

当社グループには事業年度を4月から3月までと定めているお客様が多いため、システムの導入・引渡し、年度の節目である9月および3月に集中する傾向にあります。このため、当社グループの業績は、売上、利益ともに第2四半期および第4四半期に集中する傾向にあります。

このような傾向を改善するため、当社グループは、業績の平準化(売上高の平準化)に取り組んでおり、お客様との契約、納期等の見直しを実施しております。その結果、当第1四半期(平成19年4月1日～平成19年6月30日までの3ヶ月間)の売上高構成割合は、前年同期に比べ0.7ポイント改善の16.4%となりました。

売上高四半期構成割合

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期
	%	%	%	%	%	%
20年3月期	16.4	27.3	43.7	—	—	56.3
19年3月期	15.7	29.3	45.0	18.2	36.8	55.0
18年3月期	14.9	29.4	44.3	17.8	37.9	55.7

20年3月期の構成比については、業績予想の売上高を基に算出しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、前年同期末に比べ16億48百万円増加いたしました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が70億74百万円増加、たな卸資産が61億19百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前年同期末に比べ37億88百万円増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金が35億82百万円増加したことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第1四半期累計の業績は、ほぼ予定どおり推移しておりますので、平成20年3月期の連結業績予想につきましては、当初予想と変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準については、簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

NECネットエスアイ(株)(1973) 平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期末	当 四 半 期 末	増 減		(参考) 前期末
	平成19年3月期 第1四半期末	平成20年3月期 第1四半期末	金 額	増減率	平成19年3月期末
	金 額	金 額	金 額	%	金 額
(資産の部)					
I 流動資産	104,288	107,236	2,948	2.8	125,498
現金及び預金	6,969	7,770	800	11.5	8,602
受取手形及び売掛金	64,506	71,580	7,074	11.0	95,353
たな卸資産	27,072	20,952	△6,119	△22.6	15,090
その他	7,285	7,133	△151	△2.1	6,652
貸倒引当金	△1,544	△199	1,344	△87.1	△200
II 固定資産	24,990	23,691	△1,299	△5.2	23,298
有形固定資産	8,297	8,269	△27	△0.3	8,260
無形固定資産	3,719	3,654	△65	△1.8	3,758
投資その他の資産	12,974	11,767	△1,206	△9.3	11,279
資産合計	129,279	130,927	1,648	1.3	148,797
(負債の部)					
I 流動負債	49,291	47,668	△1,622	△3.3	65,173
支払手形及び買掛金	30,290	32,841	2,550	8.4	48,333
短期借入金	3,003	500	△2,503	△83.4	531
前受金	7,590	5,627	△1,963	△25.9	3,451
その他	8,406	8,699	293	3.5	12,857
II 固定負債	21,855	21,337	△517	△2.4	21,422
長期借入金	5,000	5,000	—	—	5,000
退職給付引当金	16,769	16,242	△527	△3.1	16,300
その他	86	95	9	11.1	121
負債合計	71,146	69,006	△2,140	△3.0	86,596
(純資産の部)					
I 株主資本	57,752	61,325	3,573	6.2	61,692
資本金	13,122	13,122	—	—	13,122
資本剰余金	16,650	16,650	0	0.0	16,650
利益剰余金	27,983	31,566	3,582	12.8	31,931
自己株式	△4	△13	△9	211.1	△11
II 評価・換算差額等	△321	△273	48	△15.0	△308
その他有価証券評価差額金	105	△23	△128	—	△14
繰延ヘッジ損益	△93	△56	36	△39.4	△40
為替換算調整勘定	△333	△193	139	△42.0	△253
III 少数株主持分	701	869	167	23.8	816
純資産合計	58,132	61,921	3,788	6.5	62,201
負債純資産合計	129,279	130,927	1,648	1.3	148,797

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 〔平成19年3月期 第1四半期〕	当 四 半 期 〔平成20年3月期 第1四半期〕	増 減		(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売 上 高	39,884	44,153	4,268	10.7	254,641
II 売 上 原 価	35,259	38,499	3,240	9.2	221,379
売 上 総 利 益	4,625	5,653	1,028	22.2	33,262
III 販売費及び一般管理費	5,997	5,641	△ 356	△ 5.9	25,413
営 業 利 益	△ 1,372	12	1,384	—	7,849
IV 営 業 外 収 益	143	171	27	19.1	683
V 営 業 外 費 用	56	104	48	87.1	672
経 常 利 益	△ 1,284	78	1,363	—	7,860
VI 特 別 損 失	—	—	—	—	586
税金等調整前四半期(当期)純利益	△ 1,284	78	1,363	—	7,273
税 金 費 用	△ 460	82	542	—	3,754
少 数 株 主 利 益	△ 4	13	18	—	41
四半期(当期)純利益	△ 819	△ 16	802	—	3,476

(3) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前年同四半期 (平成 19 年 3 月期第 1 四半期)

(単位:百万円)

	ネットワークインテグレーション・サポートサービス事業	通信工事事業	機器等販売事業	計	消 去 または全社	連 結
受 注 高	41,355	13,810	4,934	60,100	—	60,100
売 上 高	27,766	8,846	3,271	39,884	—	39,884

当四半期 (平成 20 年 3 月期第 1 四半期)

(単位:百万円)

	ネットワークインテグレーション・サポートサービス事業	通信工事事業	機器等販売事業	計	消 去 または全社	連 結
受 注 高	43,962	16,809	4,559	65,331	—	65,331
前年同四半期増減	2,606	2,999	△374	5,231	—	5,231
売 上 高	29,028	10,866	4,258	44,153	—	44,153
前年同四半期増減	1,261	2,020	986	4,268	—	4,268

(注) 各区分の主要な事業

- (1) ネットワークインテグレーション・サポートサービス事業
顧客の経営効率化や競争力強化のためのネットワークシステムに関する企画・コンサルティング、ソフトウェア開発、構築、運用・保守、アウトソーシングサービスおよび当社開発製品・機器等の提供
- (2) 通信工事事業
情報通信基盤の建設工事およびこれらに付帯する設備工事
- (3) 機器等販売事業
情報通信機器等の販売

[所在地別セグメント情報]

前年同四半期 (平成 19 年 3 月期第 1 四半期)

全セグメントの売上高の合計および全セグメントの資産の金額の合計額に占める「日本」の割合がいずれも 90%を超えているため、記載を省略しております。

当四半期 (平成 20 年 3 月期第 1 四半期)

全セグメントの売上高の合計および全セグメントの資産の金額の合計額に占める「日本」の割合がいずれも 90%を超えているため、記載を省略しております。

[海外売上高]

前年同四半期 (平成 19 年 3 月期第 1 四半期)

海外売上高が連結売上高の 10%未満であるため、記載を省略しております。

当四半期 (平成 20 年 3 月期第 1 四半期)

海外売上高が連結売上高の 10%未満であるため、記載を省略しております。